



平成 26 年 2 月 7 日

各 位

会 社 名 テクノホライズン・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 野村 拡伸
(JASDAQ・コード 6629)

問合せ先
役職・氏名 常務取締役 渡邊 毅
電話 052-823-8551

子会社における事業構造改革の実施に伴う特別損失の発生 及び業績予想・配当予想の修正に関するお知らせ

当社は平成26年2月7日開催の取締役会において、光学事業子会社の事業構造改革の実施ならびに平成25年7月25日に公表いたしました業績予想ならびに平成25年5月10日に公表いたしました配当予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 光学事業子会社の事業構造改革の背景と目的

当社の光学事業におきましては、これまでプロジェクター用ならびにデジタルスチルカメラ用の光学レンズユニット製造・販売を事業の柱のひとつとし、また、デジタルスチルカメラの受託開発事業も実施しております。しかしながら、当期におきまして、販売先である国内大手プロジェクターメーカーが相次ぎプロジェクター市場からの撤退ならびに事業縮小を実施し、また、デジタルスチルカメラ分野におきましては高画素カメラ搭載スマートフォンの普及や新興国の低価格製品拡大で市場が大幅に落ち込みました。このように主力マーケットの状況が急激に変化したことにより、当社売上が大幅に低下し、光学事業の業績が著しく悪化いたしました。

当社といたしましては、今後についても当該両市場の十分な回復が期待できないと判断いたしましたので、当事業の該当子会社である株式会社 SUWA オプトロニクスならびに株式会社エルモ社において既に実施しております工場再編、人員縮小等（株式会社 SUWA オプトロニクスの人員縮小は、平成 25 年 6 月 12 日及び平成 25 年 6 月 27 日付開示資料参照）に加え、一部事業からの撤退等一層の構造改革を実施し収益の改善に努めてまいります。

2. 事業構造改革の概要

- (1) SUWA オプトロニクスにおける生産モデルを低粗利・大量生産型主体から、高付加価値・中少量生産型主体へ転換いたします。そのために、下記の施策を推進いたします。

①製造体制の改革（中国工場の再編、縮小）

大量生産型製造体制を縮小して事業規模の適正化をはかり、経営資源を高付加価値光学製品の開発・製造に集中します。また、更なるコスト削減を実施し、売上規模に適合した事業採算化を実現します。

既に上期において SUWA オプトロニクスの国内生産工場の一つである諏訪工場を閉鎖し茅野本社工場に統合いたしました。今後はさらに中国工場（蘇州・東莞）

の再編、大幅縮小を実施いたします。

②高付加価値製品市場への新規参入

これまでに蓄積した光学開発技術に基づき、高精細監視カメラ用レンズ、3D計測、光ファイバー照明装置等への事業展開を急ぎます。

③テクノホライゾングループシナジーの拡大

SUWA オプトロニクスが保有する光学技術をグループ他社に取込み、テクノホライゾングループ全体での新製品事業拡大と幅広い応用展開を推進します。この実施のため、グループ間での共同開発、人事異動等を積極的に実施いたします。

(2) エルモ社においては、デジタルスチルカメラ開発受託事業から全面撤退し、残存する当該事業資産を整理し開発組織も一新いたします。

①自社オリジナルの特殊デジタルカメラ開発の一層の強化

前期に市場投入いたしました「多目的フィールドカメラ QBiC」を更に進化させデジタルカメラ市場の中で成長の著しいウェアラブルカメラ（衣服やヘルメット等に装着して使用するカメラ）分野へ進出いたします。（本日別途PR情報にて開示の添付「新製品『手のひらサイズの超広角デジタルムービーカメラ：QBiC MS-1』発売に関するお知らせ」をご参照ください。）

②特殊デジタルカメラの応用展開

FA（Factory-Automation:工場の自動化）・監視カメラ等業務用ニッチ市場に向けて特殊デジタルカメラのシリーズ展開をはかり、応用製品の投入をしております。

③特殊デジタルカメラの海外市場への本格参入

米国ならびに欧州を中心に大手ディストリビューター（販売総代理店）と販売契約を締結し、特殊デジタルカメラの海外市場への本格参入を実施いたします。

以上の施策を軸に構造改革を徹底させ、経営体制も強化一新し、次期の黒字回復を目指します。

(3) 特別損失等の内容

事業構造改革にかかわる主な特別損失ならびに事業整理損の計上は以下のとおりです。

プロジェクター事業縮小に伴う工場再編及び関連固定資産除却				
該当会社	内容	(百万円)	区別	実行期
SUWA オプトロニクス	希望退職実施費用(注1)	180	特損	上期
	諏訪工場資産売却費用	82	特損	上期
	諏訪工場土地評価損	8	特損	下期
	金型除却損	21	特損	下期
デジタルスチルカメラ受託開発事業撤退等に伴う関連資産等除却				
該当会社	内容	(百万円)	区別	実行期
SUWA オプトロニクス	金型・設備除却損(注2)	118	特損	上期
	設備固定資産除却損	255	特損	下期
	東莞工場一部返却費用	15	特損	下期
	資産廃却損	94	営業費用	下期
エルモ社	受託開発事業撤退損	24	特損	下期
	資産廃却損	136	営業費用	下期

(注1) 平成25年6月12日及び6月27日付開示資料参照

(注2) 平成25年10月24日付開示資料参照

3. 通期連結業績予想の修正について

光学事業においてプロジェクター用光学ユニット販売が大手プロジェクターメーカーの相次ぐ事業縮小とデジタルスチルカメラ市場の急落により光学ユニット売上が大きく落ち込みました。環境急変に対処すべく、上述のとおり経営構造改革を実施し、その結果、特別損失ならびに事業整理損の追加計上も行うこととなりました。

また、書画カメラ事業も主力である米国（初等教育）市場で成熟化が進み、タブレット PC 製品との競合もあって、需要が低下いたしました。欧州・ロシア等の地域では逆に需要が増加しておりますものの米国市場の落ち込みをカバーする規模にはいたっておりません。また、多目的フィールドカメラ QBiC・モバイルプロジェクターBOXi も下期に想定していた大型案件の立上げが延びるなど業績への貢献が来期以降になりました。

電子事業は主力のFA関連機器の受注が好調で、携帯電話／スマートフォン用カメラモジュール検査装置やドライブレコーダー・決済端末等自社開発製品の販売も拡大し、順調に推移しておりますが、光学事業の落ち込みをカバーするには至りません。

以上の理由により、平成 26 年 3 月期通期連結売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益予想につきまして、前回発表数値を下表のとおり修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	24,000	90	410	△210	△15.58
今回修正予想 (B)	23,100	△1,390	△850	△1,900	△140.97
増減額 (B - A)	△900	△1,480	△1,260	△1,690	—
増減率 (%)	△3.8	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 3 月期)	26,595	△119	196	16	1.23

(注) 本資料に記載される業績見通しに関する記述は現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものでありますが、実際の業績はさまざまな要因により上記予想数値と異なる可能性があります。

4. 配当予想の修正について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 25 年 5 月 10 日公表)	(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 3 月期)
基準日	平成 26 年 3 月 31 日	平成 26 年 3 月 31 日	平成 25 年 3 月 31 日
1株当たり配当金	0円00銭	6円00銭	10円00銭
配当金総額	—	80百万円	134百万円
効力発生日	—	平成 26 年 6 月 30 日	平成 25 年 6 月 28 日
配当原資	—	利益剰余金	利益剰余金

(2) 配当予想修正の理由

当社では、株主に対する利益還元を経営の重要課題として認識し、継続的かつ安定的な配当を行うことを配当の基本方針としております。しかしながら、平成26年3月期につきましては、光学事業においてマーケットの急変により業績が著しく悪化し特別損失の計上等の事業構造改革を実施することで大幅な当期純損失を予想しております、このため、今期の配当につきましては、誠に遺憾ながら見送らせていただきたいと存じます。株主の皆様におかれましては、何卒事情をご理解の上、引き続きご支援賜りますよう心よりお願い申し上げます。

以上



JASDAQ

平成 26 年 2 月 7 日

各 位

会 社 名 テクノホライズン・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 野村 拓 伸
(JASDAQ・コード 6629)

問合せ先
役職・氏名 常務取締役 渡 邊 毅
電話 052-823-8551

新製品『手のひらサイズの超広角デジタルムービーカメラ：QBiC MS-1』 発売に関するお知らせ（当社連結子会社：株式会社エルモ社）

当社の連結子会社である株式会社エルモ社は、平成26年2月25日より手のひらに収まるほど小型でありながら超広角レンズ・高感度センサーを搭載し、高画質・高精細で動画／静止画の撮影を可能とするデジタルムービーカメラ『QBiC MS-1(キュービック エム エス ワン)』を発売いたしますので、お知らせいたします。

記

- ・手のひらに軽く乗る、6.1（縦）×5.4（横）×4.0（厚さ）cm・93グラムのボディにF2.0 最大画角 185° の超広角レンズを搭載。気軽にどこへでも持ち歩けるムービーカメラ。
- ・白を基調とする丸みを帯びたお洒落で女性にも親しみやすいデザイン。WiFi 接続されたスマートフォンから遠隔操作も出来るなど、使い方、楽しみ方は無限大。高感度ステレオマイクにより、ワイドで美しい映像と共に広がり感のある音も記録できます。
- ・3段階切り替え式（185° /165° /135° ）の超広角レンズに歪補正・手振れ補正機能を搭載、暗さに強い F2.0 の高感度レンズでより美しく撮影できます。被写体までわずか2cm という至近撮影も可能です。
- ・無料アプリ“QBiC APP”をダウンロードすれば、簡単 WiFi 接続によりスマートフォンからカメラ映像を確認したり、カメラ設定の変更が可能。撮影した映像を直ぐにスマートフォンへ転送し、ブログ等へアップロードすることも楽しめます。

詳細につきましては、添付資料「株式会社エルモ社 プレスリリース：QBiC MS-1」をご参照ください。

以上

新製品のご案内

手のひらサイズの超広角デジタルムービーカメラ

QBiC MS-1 [キュービック エム エス ワン]

2014年2月25日 発売予定

価格：オープン

テクノホライズングループ [JASDAQ 6629] の株式会社エルモ社(本社:名古屋市瑞穂区明前町6-14 代表取締役社長:林 数馬)は、手のひらサイズの超広角デジタルムービーカメラ QBiC MS-1 (キュービック エム エス ワン)を2014年2月25日に発売いたします。



QBiC MS-1 は、(縦)61.2×(横)54.4×(厚さ)40.1mm 重さ93g のボディに F 2.0 最大画角 185° の超広角レンズを搭載。気軽にどこへでも持ち歩くことができ、これまでのコンパクトデジタルカメラやスマートフォンとは趣の異なる映像世界を楽しんでいただけるカメラです。

スマートフォンとWiFi 接続して使うことにより、スマートフォンを QBiC のプレビューモニターとして撮影することや、離れたところに QBiC を置いてスマートフォンから遠隔操作して撮影することができるなど、多彩な使い方でユニークな映像を撮影いただけます。

“普段使い”の超広角デジタルムービーカメラとして、旅先での壮大な風景や何気ない子供のしぐさを広角にとらえることはもちろん、ゴルフのスイングチェックやピアノやドラム演奏、各種スポーツ、ツーリングやドライブ撮影などなど楽しみ方は無限大です。

業務用カメラ開発を通じて培ったエルモ社独自の光学技術と映像技術により、コンパクトボディに高性能を凝縮し、白を基調とする丸みを帯びたユニークなデザインを採用することで、女性にも親しみやすく、これまでにない超広角デジタルムービーカメラに仕上げました。

価格はオープン。実売想定価格は2万5千円前後。大型カメラ店やインターネットなどにてお買い求めいただけます。

【QBiC MS-1 の特長】

■ 独自設計の高性能レンズと高音質ステレオマイクを搭載

人間の視野角に迫る 185° の超広角レンズは 3 段階切り替え式 (185° /165° /135°) で、歪み補正機能や手振れ補正機能を搭載。F2.0 の高感度レンズは暗いところに強く、ワイドダイナミックレンジ対応により明暗差のある場所でもより美しく撮影できます。また、わずか 2cm の距離まで被写体に迫って撮影することもできます。そして高感度ステレオマイクの搭載により、ワイドで美しい映像と共に広がり感のある音を記録することができます。

■小さくても高画質・ハイスピード

FULL HD 60fps の高画質録画から WVGA 240fps のハイスピード録画まで、撮影目的に合わせて、解像度、録画速度を6段階に切り替えてお使いいただけます。

■小型軽量、ユニセックスで滑らかなデザイン

丸みを帯びたボディは(縦)61.2×(横)54.4×(厚さ)40.1mm[レンズカバー含む]、重さはわずか93g。パールホワイトカラーでまとめられたデザインは、ユニークで優しい雰囲気を与えます。お出かけの時には、スマートフォンと一緒にいつも持ち歩きたくするようなカメラです。

■楽しさを広げるアプリケーション

スマートフォン用アプリケーション”QBiC APP”をダウンロードすれば、QBiC MS-1 とスマートフォンが簡単にWiFi 接続でき、スマートフォンでカメラの映像を確認できる他、カメラの設定変更が行えます。また、撮影した画像や映像をスマートフォンへ転送し、ブログや各種 SNS 等へアップロードすることも簡単にできます。

■多彩なアクセサリ

QBiC MS-1 本体には、三脚穴を装備。市販のアクセサリをお使いいただけると共に、様々な場所に QBiC MS-1 を取り付けられるようオリジナルアクセサリもご用意しています。いつもと違うアングルでの撮影や自分撮りを楽しめます。

■いろいろ使えてお手頃価格

エルモオンラインストアでの販売価格は、税別 24,570 円の予定です。

<http://www.elmoshopping.com>

■QBiC MS-1 による作画例(静止画)



主な製品仕様



製品名	QBic MS-1
外形(W×H×D), 重量(本体)	54.4×61.2×40.1mm(レンズカバー含む), 93g
対角画角	185° /165° /135° レンズ歪補正(on/off)
フォーカス、開放 F 値	固定(∞~2cm)、F2.0
ホワイトバランス	オート/ナイト/晴天/曇天/白熱灯/蛍光灯
露出制御	自動 露出補正:5段階
マイク	ステレオ 前面
外部インターフェース	・USB(MicroB) 給電/充電/MSC(Mass Storage Class) ・HDMI(MicroD)
SD スロット	SD/SDHC/SDXC UHC-1 SDR50 まで 最大 64GB microSD
WiFi 対応規格	・IEEE802.11b/g/n ・AP モード
WiFi 動作 対応 OS:iOS 5.1 以上 Android2.3 以上	・本体記録画像(動画/静止画)再生 ・LiveView 機能 ・本体記録画像ファイル転送 ・ファイルの編集 ・カメラの機能設定
充電電池	リチウムポリマー電池(取外し不可) 3.7V 1000mAh
電池稼動時間	1 時間 45 分連続動作(1080p/30fps)
動画形式	mp4(H.264+AAC)
静止画形式	jpg(JPEG) DPOF 未対応
動画記録解像度	1080p/60fps、1080p/30fps、720p/60fps、720p/30fps 720p/120fps(ハイスピード) WVGA/240fps(ハイスピード)
静止画記録	5.0M(185°)、3.5M(165°)、2M(135°)
静止画記録設定	・通常モード(1枚撮影) ・インターバル撮影モード(一定間隔で撮影) ・バーストモード(10枚連続撮影) ・セルフタイマーモード
WDR	有(on/off)
電子手振れ補正	有 ジャイロ内蔵(on/off)
防水	IPX4
付属品	USBケーブル0.2m、レンズ保護キャップ、SmartClip、スタートアップガイド /安全上の注意、保証書

-ELMO QBic MS-1, ELMO ロゴは(株)エルモ社の登録商標または商標です。

-その他の名称や製品名は各社の登録商標または商標です。

-本プレスリリースの内容は発表日現在の情報です。予告なしに変更される可能性がある旨予めご了承ください。

この件に関するお問合せ先 株式会社エルモ社 マーケティング本部 eコマース推進室

電話:052-811-5241 FAX:052-824-4400 住所:名古屋市瑞穂区明前町 6-14

e-mail:online-info@elmo.co.jp QBic Website::<http://www.elmoqbic.com>